

令和3年度 年間授業計画

都立第一商業高等学校

教科・科目	商業 財務会計Ⅰ	単位数	3	対象学年・組	2年B組
教科書 使用教材	「新財務会計Ⅰ」(実教出版) 最新段階式 簿記検定問題集 全商1級(会計)(実教出版)	教科担任		山縣	

1. 目標

財務諸表の作成に関する知識と技術を習得させ、財務諸表の意義や制度について理解させるとともに、会計情報を提供し活用する能力と態度を育てる。

2. 学習内容と学習上の留意点

学期	指導内容	具体的な指導目標	学習上の留意点	予定時数
2 学期	・財務会計の基礎 ・貸借対照表	・企業と会計 ・企業会計制度と会計法規 ・貸借対照表のあらまし ・資産の意味・分類・評価 ・当座資産・棚卸資産 ・その他の流動資産 ・有形固定資産 ・無形固定資産 ・投資その他の資産 ・負債の意味と分類 ・流動負債 ・純資産の意味と分類 ・資本金・資本剰余金 ・利益剰余金・自己株式 ・貸借対照表の作成	財務会計の基礎的な内容について理解させるよう指導する。 資産・負債・資本の意味・分類及び資産評価の意味について理解させるよう指導する。 貸借対照表作成上の原則や注記などを理解させるよう指導する。	36
3 学期	・損益計算書口	・損益計算書のあらまし ・損益計算の意味と基準 ・売上高 ・売上原価、販売費及び一般管理費 ・営業外収益・営業外費用 ・特別利益・特別損失 ・損益計算書の作成	損益計算書の分類・会計処理などを理解させるよう指導する。 損益計算書作成上の原則や注記などを理解させるよう指導する。	42
	・財務諸表の活用☑連結財務諸表 ・連結財務諸表	・その他の財務諸表 ・財務諸表のディスクロージャー ・財務諸表の分析 ・連結財務諸表のあらまし ・連結財務諸表の作成	財務諸表分析の意味とその方法などを理解させる。 連結財務諸表のあらましと作成方法について理解させる。	
	総まとめ	・全商簿記検定1級 会計問題演習	1、2学期に学習した内容を習熟し、その成果を検定取得ではかる。	27

3. 授業を受ける上での注意

※生徒が学習する上での学習方法について、具体的に箇条書きで記述する。

教科書及び補助教材として問題集、プリントを使用する。

学習した内容の復習が大切である。また、反復学習を根気強く継続すること。

宿題、課題、提出物は期日を守り必ず提出すること。

4. 評価の観点・方法

※評価の観点と方法についてわかりやすく具体的に記述する。

この科目の評価については、定期考査並びに日頃の学習に取り組む姿勢を重視し、

検定試験の取得状況や課題等の提出状況も評価に反映させる。